

公益社団法人 日本天文学会理事会議事録

日 時：2018年3月14日（水） 19時10分～21時10分

場 所：千葉大学西千葉キャンパス・理学部2号館2F会議室（千葉県千葉市）

出席理事：柴田（一）、土居、伊王野、山下、早野、柴田（克）、小宮山、寺田、大山、望月、
徂徠、花輪、伊藤、春日（以上14名）

出席監事：立松（以上1名）

欠席理事：林、嶋作（以上2名）

欠席監事：田中（以上1名）

また、「シリーズ現代の天文学」第2版化WG代表茂山俊和氏、佐藤事務長が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が14名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

また定款に基づき、議長と署名人の確認がなされた。

議 長：柴田一成

署名人：柴田一成、土居 守、立松健一

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2017年12月23日）の理事会議事録が報告され、確認された。

II. 議題

II-1. 新規加入者の承認（資料3，山下）

24名の正会員および7名の準会員の入会申請と1名の準会員から正会員への移籍の申請があり、全会一致で承認された。

II-2. 「シリーズ現代の天文学」の追加巻について（資料4，茂山）

シリーズ現代の天文学の第2版化に際して第18巻としてアストロバイオロジーを加える提案があったが、編集者候補への事前の打診がなされていないことなどから、結論は保留となった。当該分野の重要関係者の追加巻発行への賛同と編集者としての参加承諾を確認することとなった。

II-3. 「2018年度会員名簿」について（資料5，伊王野）

2018年度発行予定の会員名簿の掲載事項案とスケジュール案が示され、「天文教育施設、主な関係機関について」について議論があった。また、カテゴリとしては存在するが現在は新たな認定を行っていない名誉会員について、今期の理事会で該当者の定義の議論から始めて、推薦を復活させる方向で進めることとした。

II-4. 年会での非会員の託児について（資料7，寺田）

今期の年会で初めて非会員から保育室の利用希望があり、会員からの保育希望を圧迫しないことから年会実行委員会として会員と同額の利用料金で受け入れたことが報告された。今後の同様の希望に対しての対応として、「会員の保育室利用を圧迫するほどの利用者数にならな

ければ、年会参加者であれば非会員でも託児を受け入れる。その際の料金は会員と同額とする」ことが全会一致で承認された。なお、1年会あたり5 - 10名の利用者に対し20万円前後で保育室を開設している。保護者には30分 300円(0,1,2歳)もしくは400円(3歳以上)として、保育事業の20 - 50%程度の費用を負担いただき、残りは日本天文学会の補助で運営している。

III. 報告

III-1. 入退会報告(入会)

2017年12月20日~2018年3月7日までに正会員入会申請24名、準会員入会申請7名、準→正の移籍申請1名、正→準の移籍0名、正会員退会者3名、準会員退会0名の報告があった。

III-2. 開催中の年間に関する報告及びそれ以降の年会進捗状況報告

1. 千葉大学(花輪):特に大きな問題は発生していない。
2. 兵庫県立大学(伊藤):2つの建物で10部屋を確保。懇親会は姫路商工会議所のホールで行う。
3. 法政大学(春日):学内のキャリアセンターとバツティングして平日は大きい部屋は使えないことが判明。廊下を挟む150-160人部屋2つを中継して使う可能性などを考える必要がある。ポスターは部屋と廊下を使う予定。

III-3. 各担当理事等の現状報告

1. 年会(寺田):初日の参加者は533名であった。次の年会から、W1:コンパクト天体(BH・NS)とW2:コンパクト天体(WD・GRB・その他)の2つのセッションをW:コンパクト天体として1つにまとめることとした。次の年会の企画セッションを募集中。年会についての会員アンケートを実施中で、すでに110件の回答があった。
2. 月報(小宮山):4号に渡って追悼文が続く。
3. PASJ(嶋作、伊王野代読):PASJ論文が学会主催の記者発表の題材となった場合、フリーアクセスとすることとした。OUPからの決算があり、59943ポンドの送金がある予定。PASJに掲載された著者より、プルーフにおいて信じられないレベルのミスが多数あったとの指摘があったことが紹介され、詳しい調査を行うこととなった。
4. 庶務理事(伊王野):代議員総会で各賞の決定がされたことが報告された。また、「安全保障と天文学」の特別セッションが開催されたことが報告された。
5. 会計(早野):前回の理事会・代議員総会で承認した会費に関する細則の延滞手数料の変更の対象はH29年度を除きH30年度のみとすることを臨時代議員総会で承認されたとの報告があった。
6. 天文教育(大山):教育フォーラムは約120名の参加者があった。講師紹介プログラムは5件成立し、1件調整中である。

III-4. 事務所の近況報告

新代議員の着任手続きが進行中(佐藤)

III-5. その他

IAU 100周年イベントについて、2019年の4,5月を考えており、学術会議で承認後、日本天文

学会と協議を始めたい。

[資料リスト]

資料1 理事会出欠表

資料2 公益社団法人日本天文学会理事会（2017年12月23日）議事録（案）

資料3 加入者の承認・移籍の承認・報告、退会の報告

資料4 日本天文学会創立100周年記念出版

「シリーズ現代の天文学」Astrobiology についての巻出版の提案

資料5 2018年度会員名簿について

資料6 PASJ 報告事項

資料7 年会実行委員会（年会での非会員の託児について）

資料8 年会理事報告

資料9 インターネット版天文学辞典ワーキンググループ 2018年度事業計画

2018年3月14日

会 長：柴田 一成 印

副会長：土居 守 印

監 事：立松 健一 印